



有田2000 ロータリークラブ



No. 1004
Club Bulletin

会長 芝 毅
幹事 森 誠
クラブ会報委員長 永石 睦巳

青少年奉仕月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム

令和5年5月24日（水）第1005回
ソング「我等の生業」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
湯浅町役場
湯浅町地域包括支援センター

次回のプログラム

5月31日 次年度会長のための時間
6月3日4日 一泊移動例会 伊勢方面
6月14日 クラブ協議会
ガバナー補佐 松村秀一様

前回の報告

（第1004回例会）

開催日

令和5年5月17日（水）
ソング「手に手つないで」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
卓話 米山奨学生 楊 建宇君
ゲスト 米山学友小委員会 納谷政志様
田辺はまゆうRC 山本佳弘様

●会長の時間●

皆さん 今晚は！
メンバーの出席ありがとうございます。
本日の例会は米山奨学生の楊建宇君です。よろしくお祈りします。
会長の時間 毎回何を話そうかなと思いますが、今回本当に何もないので野球の事詳しくないのですが、こんな僕でも昨日もBS1でやりました大谷翔平君の言葉を調べました。
僕がダメだったとしても、次の子どもが出てきてくれればいいんです。ピッチングにしてもバッティングにしても、自分の形をどれだけ高いレベルでできるのかなっていうところに楽し



みがある。やりたいことができている試合は多いかなと思います。とくに長打は自分の持ち味なので、しっかり芯に当てれば、勝手にボールが飛んでいって、長打になってくれる。ピッチャーはゲームを作れる。バッターはゲームを決められる、やれるかやれないかではなくて自分次第。人生が夢を作るんじゃない。夢が人生をつくるんだ。
成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事。
無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。でも、僕は野球をするためにここに来た。僕がどういう選手になるのかというのは、自分で決めること。憧れるのを、やめましょう。今日、超えるために、トップになるために来たんで。素晴らしいですね こんな人間いるのかとおもいます。野球はあまり知りませんが 朝の楽しみが増えました。

●幹事報告●

代理 前任君

- ・ハイライトよねやま（回覧）
- ・2022-23年度 各委員会活動報告配布しています。宜しくお願い致します。
- ・例会変更（ホワイトボード）



●ニコニコ箱●

納谷政志様 羽衣RC 良いお天気になってよかったです。本日よろしくお祈りします。
 山本佳弘様 田辺はまゆうRC 本日よろしくお祈りします。
 芝毅君：楊建宇君 本日の卓話宜しくお祈り致します。
 中屋喜臣君：皆様 お疲れ様です。本日の卓話楊建宇様宜しくお祈り致します。
 森誠君：皆様こんばんは！本日は羽衣RC納谷様楊建宇様ようこそお越しく下さいました。宜しくお祈り致します。
 梅本茂喜君：楊建宇君 本日の卓話宜しくお祈り致します。
 大浦輝彦君：皆さんこんばんは。米山奨学生 楊建宇様ようこそお越しく下さいました。卓話宜しくお祈り致します。
 南良暢君：楊建宇様 本日のお越し頂き有難うございます。大阪はどうですか？
 加納恒儀君：本日もよろしくお祈りします。
 永石睦巳君：皆様今晚は！今日は本当に暑かったです。
 前任君：米山奨学生 楊建宇様 本日有難うございます。中屋さん金曜日はお疲れ様でした。筋肉痛は治りましたか？

●出席報告●

前任君



	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	14名	12名	85.7%
今年度平均		11.7名	81.7%

●卓話●

楊建宇君

現職：大阪府立大学
 (現大阪公立大学) 大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 食料安全科学研究室 博士3回生

略歴：

2012年7月に来日

2013年10月 ECC国際日本語専門学校入学

2014年4月 大阪府立大学入学

2022年4月 ロータリー米山記念奨学会の奨学生となった (田辺はまゆうRC所属)

現在 同大学大学院博士課程在学中



私の足跡～大連から日本そして世界へ

皆様、こんにちは。今日の卓話の時間を使わせて、私の今までの人生の一部を皆様に見せたいと思います。話の内容は主に簡単な自己紹介、私のふるさと、私の研究とロータリー米山記念奨学会とのご縁の4つに分けて進めたいと思います。

自己紹介

私の名前は楊 建宇です。1992年に中国の遼寧省大連市で生まれました。2011年に高校から卒業し大学にも合格しましたが、そのまま大学に入ると人生は不完全になると思いましたが、何をすればいいかがまだ思いつかず、人生について迷いました。そこで、中国国内で旅行しながら今後の人生を考えていました。その後日本に留学することを決めて、2012年の7月に日本に来ました。10月にECC国際日本語専門学校に入学し、日本語と大学の入学試験について勉強し、大阪府立大学の入学試験を受けて入学しました。現在大阪府立大学と大阪市立大学が合併されて大阪公立大学になりましたので、私は現在大阪公立大学大学院博士後期課程の3回生です。私の好物はコーヒー、猫と旅行することです。同じ興味を持つ方がいればぜひ後で私と情報交換してください。

私の来日するきっかけとしては、主に3つのことが考えられます。一番目は私の叔母さんからの影響でした。私の叔母さんは20年以上日本で住んでいて、叔父さんと結婚することで中国に戻りました。そのおかげで私は日本に関する話をたくさん聞くことができました。叔母さんと会話する回数が増えるとともに日本の自然景色や建物、文化などに興味を持つようになりました。叔母さんから聞いた日本のことが迷ったと時の私に大きなヒントをくれました。そして2番目のきっかけとしては、私の高校生活でした。私が通っていた高校は大連第十六中学という学校でした。(中国では中学は中学校と高校の両方を指します。)以下は十六中と呼びます。十六中は大連有数の日本の幾つの学校と友好関係を持つ高校です。日本の高校との交換留学や互いの訪問などがよく行われています。このような高校だから、私は中国にいる際にも日本文化に触れることができました。最後のきっかけは私のふるさとからの影響でした。

私のふるさと～大連

大連は日本に近いです。大連から北京と大連から大阪までの片道に要する時間はほぼ同様の2時間30分です。このような地理関係を持つので、大連が日本との交流が多いことが決まっています。実際に大連には中国国内で唯一の中日文化交流協会があります。そして大連の世界中の姉妹都市にも特に日本の都市が多いです。京都府舞鶴市、福岡県北九州市、佐賀県伊万里市、青森県青森市の4つの中には私は九州市に行ったことがあります。北九州市の門司港に大連友好記念館が建てられています。記念館にはたくさん貴重な資料が保存されていて、大連を紹介するビデオも流されていますの

で、日本に居ながら大連を知りたい人にとって便利なところですし、中日友好の象徴としても大変な価値を持つと考えています。皆様もぜひ機会があれば一度でも行って見ることを強くお勧めします。私の今までの人生の大半は大連で過ごしました。私の記憶に深く残っている場所を皆様に紹介します。大連には広場と公園が多く、観光スポットの中には大半が公園と広場です。中山（チュウザン）広場はその中にも特に有名で、日本人が作った建物を今でもそのまま使われることが特徴です。これらのロータリー状の広場に並ぶ建物らは、大連中山広場近代建築群と呼ばれ、全国重点保護単位に指定されています。日本と関係深い建物のもう一つは大連鉄道駅です。大連鉄道駅は太田宗太郎が設計し東京の上野駅がモデルになっていると言われます。建物だけでなく、現在も大連で使われている交通機関の一つである路面電車も日本人が持ってきたものです。中国人の中には日本のマンガやアニメが好きな人が多く、高校時代の私もその一人でした。大連では日本式なマンガ喫茶もあり、日本語で書かれた雑誌やマンガ揃っています。高校時代の私はよく行きました。

大連は中国のロマンティックシティーやサッカーのシティーと呼ばれます。アジア最大の広場である星海（セイカイ）広場と大連中心部最大の公園である労働公園から大連の人が誇るロマンスと体育精神が感じられます。音楽と一緒に踊る噴水と大きなサッカー状の建築芸術館は大連の特徴的な建物です。また遊園地、海遊館、極地館、鳥類動物園が一体化された大連老虎滩海洋公園もあります。歴史が好きであろう、動物が好きであろう、遊園地が好きであろう、大連では誰でも楽しむことができます。

私の研究

21世紀において人口増加とともに食糧問題は解決しなければならない大きい課題の一つです。人間の食事の80%は植物由来ですが、毎年最大40%の食用作物が害虫や植物の病害のために失われていると言われます。病害虫から植物を守るために、農薬が大量に使われていますが、環境への負担にもなっています。実は植物は動物のように動くことができないので、様々な危険から身を守るために複雑な防御機構が進化してきました。植物には外からの危険で発動する免疫メカニズムだけでなく、自ら作った物質で免疫を誘発できるシステムがあることが証明されています。私は主にマメ科植物が持つ自己免疫を誘発できそうな1種の8アミノ酸ペプチドの機能を、マメ科のモデル植物であるミヤコグサで研究を進めています。持続可能な開発目標の一つである“飢餓をゼロに”があります。これは私が研究をする初心であり、すべての農学をする人間の共同理想であると信じます。



ロータリー米山記念奨学会とのご縁

最初にロータリーという言葉を知ったのは隣の研究室の張君からでした。張君は2019年度の奨学生でした。その時から、自分もロータリー米山奨学会の奨学生になればいいと考えました。運がよく、今年4月に大学からのお勧めで、面接を受ける機会をもらいました。一回落としましたが、最後に繰り上げて合格でき、田辺はまゆうに配属されたことも一種の運命だと感じました。クラブの例会に参加して、たくさん勉強できました。大連生まれの私、農学を研究する私ならロータリーの理念を实践できると信じます。一人ではできないことでも、世界から来たロータリアンやロータリアンの家族達が一緒に努力すれば、時代という機械を正しい未来へ導く重要な力になると思います。



●閉会点鐘●
芝会長

